

設立総会報告

小山工業高等専門学校地域連携協力会の設立総会が、平成 25 年 9 月 25 日（水）小山市のホテル・ヴィラ・デ・マリアージュ小山において開催されました。

本会は法人会員 84 社・個人会員 12 名・特別会員 12 機関の計 108 会員が入会して発足し、総会には大久保小山市長始め会員・学校関係者合わせ、総勢 160 名の方々が集まり、盛大に次のとおり設立総会・交流会等が行われました。

総会では、はじめに発起人代表の大森一級建築事務所代表取締役大森武男氏から「グローバル化する産業界で創造的技術者の育成が期待されている。わが国の国際競争力を後押しするのが、ものづくり教育であり、高専と地域産業を担う本会会員とのコラボレーションである。本会が高専・会員にとって“WIN-WIN”の会として発展していくことを期待している。」と開催挨拶がありました。

荻谷勇雅校長から、「地域と教育・研究が一体になって取り組む時代になっている。高専が地域のイノベーションの中心的役割が果たせるよう頑張っていきたい。本会は、地域との新しいコラボレーションの出発点である。様々な活動展開が予定されているので、今まで以上に学校に来ていただいて相談し、素晴らしい地域づくりのキッカケにしたい。」と挨拶がありました。

発起人でもある小山市長大久保寿夫氏から、「小山市は工業発展こそ地域発展の原動力の考えのもと工業化を推進してきた。ソフト面では産学官連携による技術交流を推進してきた。小山高専はものづくり教育の殿堂として小山市の発展に寄与してきた。さらにその体制を強化するものとして本会が設立されることは、市にとって望外の喜びであり、小山市・栃木県の発展に寄与してほしい。」と挨拶がありました。

続いて、議長選出の後、本会の会則、役員を選出、事業計画、平成 25 年度事業計画・事業予算について審議され、承認されました。

総会終了後、独立行政法人産業技術総合研究所イノベーション推進本部産学官連携推進部関東産学官連携推進室長黒澤茂氏による「イノベーションの推進と産学官連携活動一産総研の取り組み」と題した講演を行っていただきました。その後、伊澤地域連携共同開発センター長から、小山高専の概要と小山高専と地域の関わりについて説明がありました。続いて、出席会員一社ごと等の紹介が行われました。そして、会場を移動して記念交流会が行われ、オペラ鑑賞や教職員紹介を行い、大いに盛り上がりました。



活動報告

■ 研究室公開（11月行事）

協力会行事の第一弾として会員企業の研究室公開を学校行事である工陵祭（学生主催）日程に合わせて 11 月 3 日、4 日の 2 日にわたり実施しました。あらかじめ研究室公開を公募したところ、機械工学科からは伊澤研究室・北條研究室・加藤研究室・山下研究室の 4 研究室、電気情報工学科からは小林研究室・土田研究室・鈴木研究室の 3 研究室、物質工学科からは糸井研究室・亀山研究室の 2 研究室の計 10 研究室が公開を行いました。建築学科は建物の内部改装中のため、今回は公開することができませんでした。

工陵祭の開催中であり、親子連れの方々が研究室を訪れていましたが、協力会会員の研究室訪問はあまり多くなかったようでした。初めての試みであり、研究室の選択、実施時期、協力会会員への開催案内期間が短かったなど反省すべき点が多くありましたので、次回の研究室公開に活かしたいと思っています。



■ 会員企業訪問（12月行事）

12月2日（月）午後、小山高専教職員18名が参加して、「教職員向け企業見学会」が実施されました。

この見学会は、教職員が会員企業を知り相互に交歓親睦して今後の学生支援の一助になるものとして企画されたものです。

第1回目の今回は、宇都宮市の三和テッキ(株)宇都宮事業所と、日光市の(株)大日光エンジニアリング轟工場を見学しました。2社の機械加工や工作機械設備、組立工程など現場を直接視ることが出来て教職員が大変勉強になりました。



■ エネルギー・シンポジウムに協賛（1月行事）

1月25日（土）午後、小山高専で“産学連携環境エネルギーシンポジウム2014”が開催され、本会として開催に協賛しました。本シンポジウムは、産学の連携により、環境・エネルギーおよびその周辺技術、電力の安定供給に関する課題と施策について議論するとともに、環境エネルギー創製に資する技術者の育成および高等教育への展開を図るもので、全国から11高専と長岡技大の教職員が参加しました。会員企業からは、株式会社高岳製作所技術開発研究所の仙波顧問に基調講演をいただいたほか、6社がパネル展示に協力いただくなど、会員企業から約20名の参加がありました。



■ 企業概要説明会(就職説明会)を栃木県と共催（3月行事）

人材育成・確保、キャリア教育等の支援事業の一環として、3月7日（金）午後、栃木県の重点振興産業分野5協議会等と企業概要説明会(就職説明会)を同時開催しました。

今年度の企業概要説明会には、本会会員企業29社を含む43社が参加し、学生からは約60名の参加がありました。例年、この説明会参加企業に就職する学生が10名近くおり、学校としても本会としても、関心の高い就職関連行事になっています。

この説明会では、30分の説明会を4クール行い、今回参加の学生には、事前に会社案内用として会員企業の「企業ガイドブック（暫定版）」を配付し、予備知識をもって説明会に参加してもらうようにしました。

この説明会を通し、多くの学生が会員企業を始め地元企業に就職が決まることを期待しています。



■ 産学交流会を学校と共催（3月行事）

従来、「小山高専産学交流会」は学校行事として実施されていましたが、本会が設立されたことから今回より小山高専と本会が共同で開催することとなり、3月14日（金）に小山高専を会場として実施され、79社から約120名の参加申し込みがありました。小山高専の地域連携活動は、地域連携共同開発センターを拠点として取り組んできましたが、この度同センターの建物を改修が終了し最新鋭の設備・機器を導入することとなりましたので、今年度の「小山高専産学交流会」は、小山高専の地域連携の中心的役割を担う地域連携共同開発センターの竣工式・施設見学会を兼ねて、地域と小山高専との信頼関係の更なる強化を目指して開催されました。

地域連携共同開発センターの竣工式・施設見学会の後の産学交流会では、会社ナカニシの中西賢介代表取締役副社長から「「歯科用回転機器メーカー グローバル No.1 への道」と題した基調講演、アクリーグ株式会社の磯山左門代表取締役社長から「経営品質向上への継続的取組み」の事例発表をいただきました。学生からは第10回学生&企業研究発表会で金賞を受賞した電気情報工学科5年和田義久君から「教育からホビーまでを視野に入れた球型ロボットの開発」の発表がありました。

その後、学校食堂で、情報交換会・懇親会を実施し、教員紹介を含め大いに盛り上がりました。



■ 地域連携共同開発センター機器セミナーおよび研究室公開（6月行事）

小山高専では地域連携共同開発センターの改修工事が完了し、補正予算による大型機器の大規模な更新が行われました。これらの機器について、民間企業の方々にも大いに活用いただくために、今回、更新機器であるFE-SEM（電界放出型走査電子顕微鏡）に関するセミナーを開催し、併せて、機械工学科の加藤岳仁研究室と電気電子創造工学科の鈴木真ノ介研究室の公開を6月6日に行いました。

当日は、法人・個人会員21名が参加し、「適用範囲の広い機器を紹介いただき、有意義であった。設備がわかり参考になった」などのご意見のほかいろいろなご提言をいただきました。

